

氏名	古 元 裕
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 244 号
学位授与の日付	昭和42年 3 月31日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	肝疾患時の肝の脂肪沈着に関する研究 第1報 肝疾患における肝 Glucose-6-phosphate Dehydrogenase 6-Phosphogluconate Dehydrogenase および citrate cleavage enzyme 活性と肝の脂肪沈着について 第2報 肝疾患時に見られる肝の脂肪沈着と Glucose Tolerance Test 時の血中非エステル型脂肪酸の変動について
論文審査委員	教授 小坂 淳夫 教授 平 木 潔 教授 水原 舜爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

肝疾患経過中に見られる肝の脂肪沈着の成因として、血中非エステル型脂肪酸(N E F A)の肝への流入、肝での内因性脂肪酸合成の亢進、肝の脂肪酸酸化能の低下、および中性脂肪の肝からの分泌機構の障害が考えられるが、いずれの要因が主役を演じているかの解明が重要である。著者は肝炎、肝硬変を中心とした肝疾患を研究対象に選り、脂肪酸合成促進時に増加するといわれているGlucose-6-phosphate dehydrogenase, 6-phosphogluconate dehydrogenase および Citrate cleavage enzyme 活性を生検肝組織で測定し、脂肪酸合成面の関与を検討し、更に脂肪動員の面より糖負荷時のN E F Aの変動を追求した。上記の諸酵素活性の変動と肝の脂肪沈着との間には一定の傾向を認めなかったが、糖負荷時に正常例でみられるN E F Aの低下が肝の脂肪沈着例では障害されている結果をえた。この因果関係は不明であるが、肝の脂肪化と関連した一つの脂質代謝異常を反映するものとして注目された。

岡山医学会雑誌第79巻3, 4号(昭和42年4月30日)掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究は、肝疾患経過中にみられる肝の脂肪沈着の成因を、肝の酵素活性の変動と、肝への非エステル型脂肪酸のとり込み態度から追及した新しい研究で、その成因を知り、治療を行う上の重要なものである。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。